

三観支部 活動報告

1 研究主題

確かな学力を育むための「わかる授業」の創造

～さまざまなメディアの有効的活用を通して～

2 研究主題設定の理由

平成20年1月の中央教育審議会答申においては、「社会の変化への対応の観点から教科等を横断して改善すべき事項」の一つとして情報教育が挙げられているとともに「効果的・効率的な教育を行うことにより確かな学力を確立するとともに情報活用能力など社会の変化に対応するための子どもの力をはぐくむため、教育の情報化が重要である」などの提言がなされた。これらを踏まえ、新学習指導要領において、情報教育、及び教科指導におけるICT活用について充実が図られた。

情報教育及びICT活用の充実等については、今回の学習指導要領の改訂において重視している事項との関係においても、「基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的に学習に取り組む態度を養うためには、児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用できるようにすることが重要である。また、教師がこれらの情報手段や視聴覚教材、教育機器などの教材・教具を適切に活用することが重要である」とされている。

こうした考え方にに基づき、「情報教育」及び「教科指導におけるICT活用」の充実について

- (1) 各教科等の指導に当たって、「生徒が情報モラルを身に付け」とともに「コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動を充実する」こと。また、「これらの情報手段に加え視聴覚機器や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図る」こと。
- (2) 技術・家庭科技術分野「情報に関する技術」において、小学校で身に付けた知識・技能を基に情報の科学的な理解に関する学習として、情報通信ネットワークと情報モラル、デジタル作品の設計・制作、プログラムによる計測・制御をすべての生徒に履修させること。
- (3) 教科では、資料・機器の活用や情報の比較などの学習、資料の収集・処理・発表、表・グラフの整理や標本調査の学習、観察・実験・データ処理・計測、表現・鑑賞、コミュニケーションの学習、総合的な学習の時間などにおいてコンピュータや情報通信ネットワークを活用すること。また、道徳において情報モラルを取り扱うこと。

等の提言がなされている。

これらの提言に則り、メディアの有効活用を通して学習の効率化を図り、延いては生徒の学習意欲の向上を目指して、上記の主題を設定した。

3 教科での実践事例

(1) 国語

- ・ CD, DVD (小説などの朗読, 読み聞かせ)
- ・ VTR (書道の書き方指導)

(2) 社会

- ・ インターネット (地理分野において検索)
- ・ DVD (録画した教育番組の視聴)
- ・ アニメビデオ, パワーポイントを使った手作り教材

(3) 数学

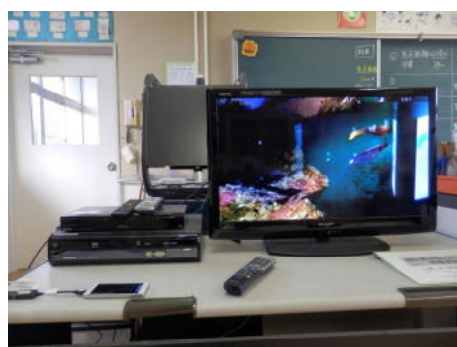
- ・ 電子黒板 (図形の学習)

(4) 理科

- ・ DVD, 自作VTR (実験観察の説明, 録画した教育番組)
- ・ デジタル教科書 (教科書の写真で動きがあると理解が深まる物)
- ・ デジカメ (プレゼンテーション)
- ・ 専門ソフト (天体シミュレーション, 音の波形, 計測)
- ・ インターネット (地学分野での検索, 理科ネットワークの利用)
- ・ スマートフォンと液晶テレビを接続したプレゼンテーション
- ・ 四国電力からの出張授業 (エネルギー単元)
- ・ 教材提示装置, ビデオカメラ (実験観察時, 手もとを拡大して表示)



デジタル教科書中の動画



スマートフォンを利用した教材提示



四国電力の出張授業

(5) 音楽

- ・ 楽譜作成ソフト (作曲)
- ・ DVD, CD (鑑賞)
- ・ VTR, ボイスレコーダ (合唱指導)
- ・ インターネット (音楽史等の検索)

(6) 美術

- ・ グラフィックソフト（幾何学模様の制作）
- ・ インターネット（美術作品、宗教オブジェの検索）
- ・ コンピュータによるレタリング（PC）
- ・ アップルテレビ（作品提示）

(7) 保健体育

- ・ VTR（ダンス指導、器械体操などの要点の指導、実技テストを録画しておいて評価）

(8) 技術・家庭

- ・ コンピュータ，OS
- ・ ネットワーク
 - ・ インターネット プロバイダ，ブラウザ
 - ・ 情報モラル，ネット犯罪
- ・ 各種アプリケーションソフトの学習
 - ・ ワープロ，グラフィック，表計算，データベース，
- ・ プレゼンテーション
- ・ 情報制御の学習とクロックの製作
- ・ 木工作業での提示



アップルテレビ



オートシェイプを使った生徒作品



木工作業の手順の提示



情報制御学習

(9) 英語 CD，DVD（判読，場面設定）

- ・ プレゼンテーション（文法や構文の説明）
- ・ DVDによる英語教材の活用
- ・ デジタル教科書の活用

4 教科外（道徳・特別活動・総合的な学習・学校行事・その他）での実践事例

- ・ PC（プレゼンテーション）とプロジェクタや大型テレビの組み合わせ
- ・ 道徳や集会，活動報告会等
- ・ 映像教材（DVD，VTR）



英語学習でのプレゼンテーション

- ・ 教育番組や市販教材を進路指導等で活用
- ・ インターネット
- ・ 修学旅行等の事前指導での調べ学習
- ・ ワープロ等
- ・ 活動の計画や記録のまとめ、作品制作、広報誌作成

○ Skypeを利用した交流活動（伊吹中）

中部中学校の生徒とSkypeを使って交流をした。リアルタイムで中部中と動画や音声をやり取りすることができ、中部中学生が伊吹中学生に声をかけてくれ、こちらも手を振ったりして、年末の交流会を懐かしむ場面も見られた。

○ 携帯安全教室（三野津中）

PTAの研修で、通信会社の担当者の指導による「携帯安全教室」を催した。子どもが巻き込まれやすいトラブル、その事例などを提示され、保護者の情報モラルや事故の未然防止への意識の高揚、スキルアップに役だった。



道徳の授業での教材提示



中部中の発表会を視聴中



携帯安全教室

5 成果と課題

平成24年度から三豊・観音寺全ての中学校に大型液晶テレビ、DVDレコーダが導入され、教科、学校行事等での利用頻度は高い。特にPC+プロジェクタ（または大型TV）を使ったプレゼンテーションは日常的に行われている。同様に大型プリンタを利用したカラフルな掲示物なども校内に増えてきた。

また、デジタル教科書やインターネットの利用により、授業に利用できる教材が比較的簡単に手に入るようになってきたため、各種メディアの使用頻度も上がってきている。映像などは、生徒の興味関心を引くとともに、学習内容をイメージ化しやすく学習の理解を支援するのに役立つが、定着しづらいという欠点も指摘されており、ノート指導も平行して行う必要があろう。

今後の課題としては、

- ① 各種機器の使用方法
- ② 教材の検索、作成
- ③ 効果的な活用場面の研究 等

教員の更なるスキルアップが望まれる。